



白鳥神社初詣

水 議会だより

ここのえ

No.96 2012.1.17発行
12月定例会

- 23年度補正予算及び追加議案 P.2
- 常任委員会報告 P.3
- 特別委員会報告 P.3
- 一般質問 8人 P.6~10
- わたしのひとこと P.11

発行／九重町議会
 編集／議会広報特別委員会
 平成24年1月17日
 〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
 ☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809
 メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp.

筈の口 武石 豪 さん
 重原 高倉 治之 さん

新春ご挨拶

議長 井上 里子



明けましておめでとう
ございます。
皆様にはお健やかに新
春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

さて、全国民が心を痛
め続けている東日本大震
災及び同時発生の原因事
故の被災者が、一日も早
く平穏な生活を取り戻せ
ることを願っています。

この震災を機に、本町
としても防災対策の強化
に努めています。住民
も、個人的に、また、地
域で、できる範囲で防災
力を高めることが必要だ
と思います。

本町の人口は年々減少
していますが、その中で
も、20代から40代の青壮
年の人口減少が目立って
います。20代から40代ま
での人口は、23年3月末
で、2790人（全体の

26%）、50代から80代ま
でが6108人（全体の
57%）です。青壮年人口
の減少に歯止めをかける
ことが、町全体の発展の
ためには必要です。思い
きった対策を迅速に講じ
なければと思います。

地域主権改革が進む中
で、地方議会の役割と責
任はますます大きくなっ
ています。本町議会とし
ましても、重大な役割が
十分果たせるよう、昨年
は、まず、議員の資質の
向上に努めることと、住
民の声を直接聞く「お出
かけ議会」を実施しました。

これからも、必要な議
会改革や町の課題解決の
ために、議員一同力を合
わせて取り組みます。

結びに、皆様のご健勝
とご多幸を祈念申し上げます。
新年の挨拶といたします。

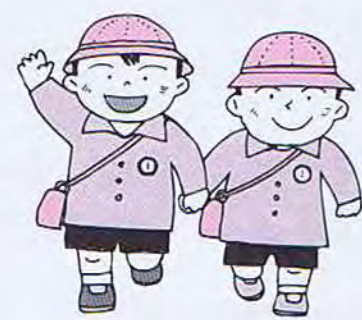
本定例会は12月6日から20日までの15日間開催され、議案7件（別途追加議案3件）、発議1件、請願1件、陳情2件、諮問1件を慎重に審議しました。

一般会計	補正額	2,255万8千円	減額
補正予算	補正後の額	71億7,542万2千円	

平成23年 第4回定例会

補正予算の主なもの

- 子ども手当 △4,355万3千円
※法改正に伴う減額補正。
- 道路維持 1,500万円
※早期に補修の必要な道路を前倒して実施
- 豊後中村住宅建設事業 △6,122万円
※東日本震災の影響に伴う減額6棟12戸を4棟8戸に縮小
- 基金積立金 6,000万円
※地方交付金税増額に伴い増額補正



人権擁護委員推薦

梅木昭次氏の

推薦に同意

現人権擁護委員の梅木
昭次氏が、平成24年3月
31日で任期満了となるが
再任で候補者を法務大
臣に推薦することを同意
しました。



九重町教育委員任命

佐藤ティ子氏の

推薦に同意

現教育委員若松平八郎
氏が、平成24年1月26日
で任期満了となり、右候
補を推薦することを同意
しました。



総務建設産業常任委員会

議案62号

九重町選挙公報の発行
 九重町選挙公報の発行に関する条例の制定については、九重町議会議員及び九重町長選挙において、選挙公報を発行することで、有権者が各候補者の氏名・経歴・政見等について、知る機会の拡充が図れること、町政へ関心が高まり投票率の向上が見込めることから、**適当である**との結論に達しました。

議案63号
九重町議会議員及び九重町長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の制定については、ポスター掲示場を公設することで、「議案62号」と同様知る機会の拡充が図れることや、選挙運動費用の軽減が考えられると。また、県内16市町が既に公設していることに鑑み、**適当である**との結論に達しました。

議案64号

九重町過疎地域自立促進計画の一部変更については、右田水路改修工事、恵良栗野線舗装改修工事、給食センター調理器具等更新事業、中須集会所改築工事を新たに追加するものです。何れの事業も、安全・安心を基調に施設等の効率的な維持管理を行おうとするものであり、**適当である**との結論に達しました。

議案65号
九重「夢」大吊橋物産直売所の指定管理者への指定については、指定候補者は、第2期の指定管理者で実績もあり、これまで安定的に管理運営されていること。また、指定期間を3年から5年にすることにしても、運営の安定に繋がることが考えられることから、**適当である**との結論に達しました。

教育民生観光常任委員会

請願

受付番号第3号

全ての肝炎患者の救済を求める大分の会代表 錢本基氏からの「三五〇万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書の請願採択」については、国の責任による医原病とされ、高い確率で肝硬変・肝臓ガンに進行し、人命に関わることから、肝炎対策基本法による具体化が求められており、救済措置法に基づき救済枠を広げる必要があると考え、請願の趣旨は理解出来ること採択することとし、国に対して意見書を提出することで**意見の一致**をみました。

陳情

受付番号第9号

九重町観光協会会長 矢野敏郎氏から「九重グリーンパークグラウンド及び八丁原グラウンドの整備」を求める陳情については、先ず、九重グリーンパークグラウンドについては、人工芝工事・排水工事等による改修が必要と思われるが、多額の費用が予想されること。八丁原グラウンドについては、冬季には九重森林公園スキー場の駐車場、他の季節には、ラグビー等の練習として、併用しており、使用方法等を検討する必要があることから、**継続審査**としました。

陳情

受付番号第10号

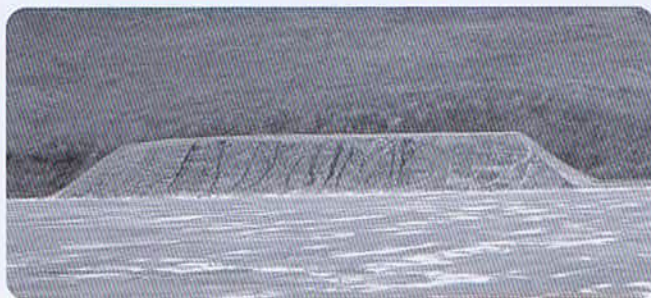
中巢区長 佐藤良二氏からの、町道中巢野矢線の道路改良を求める陳情については、本路線は、全体的に幅員が狭い道路で、取り分け一部区間の幅員が極めて狭く、離合待避所がないことや、路肩の崩壊している箇所もあり、通行の安全確保を求める陳情の趣旨は理解できることから、**採択**することで意見の一致をみました。



▲中巢・野矢線現地調査



▲泉水グリーンパークグラウンド



▲八丁原多目的グラウンド

補正予算質疑

◎ 高齢者等地域支え合い体制づくり事業委託とは、どのような世帯を対象に考えているのか。

▲ 対象は、町内970世帯、65歳以上の独居世帯と65歳以上の世帯を対象としている。

おでかけ議会実施報告

去る11月12日・13日に全議員が2班に分かれ、4地区の公民館へ出向き、町民の皆さんの自由なご意見、ご要望を聞かせていただく「おでかけ議会」を実施いたしました。

この取り組みは、開かれた議会、資質の向上を目的とした議会改革の第一歩として、今回初めての試みでありました。各会場において幅広いご意見とともに、非常に厳しいご意見もいただきました。執行権を持たない議会の立場もあり、明確な回答ができず、満足度の低い印象を持たれた方も多かったのではないかと思います。よって当日頂いた質問に対しては誠実に議会としての考え方をお返しする事が

「議会だより」
おでかけ議会特集号
を発行します。



必要であると考えております。しかし当紙面上では充分なスペースを確保できない現状でありますので、特別号として「おでかけ議会特集号」を発行する準備を進めております。

初めての試みであり、議員側も大きな不安を抱えての第一歩。進行面、内容ともに今後改善すべき点が見えた事、何よりも参加者の多くから「良い事だから継続せよ」の声をいただきました事は今後に向けての大きな後押しとなりました。ぜひ特集号をお楽しみに。



▲東飯田おでかけ議会

“夢”大吊橋実績推移表

■大吊橋入場者

項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入場者数(人)	935,899	2,051,463	1,360,733	1,084,190	827,785
対前年比(%)	-	119.2	▲33.7	▲20.3	▲23.6
大吊橋吊橋使用料(円)	457,743,340	976,513,860	646,818,440	516,327,220	394,669,270

■土産品等総売上額

項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
合計(円)	433,903,754	1,150,292,580	823,317,668	623,716,433	421,266,765
対前年比(%)	-	165.1	▲28.4	▲24.2	▲32.5

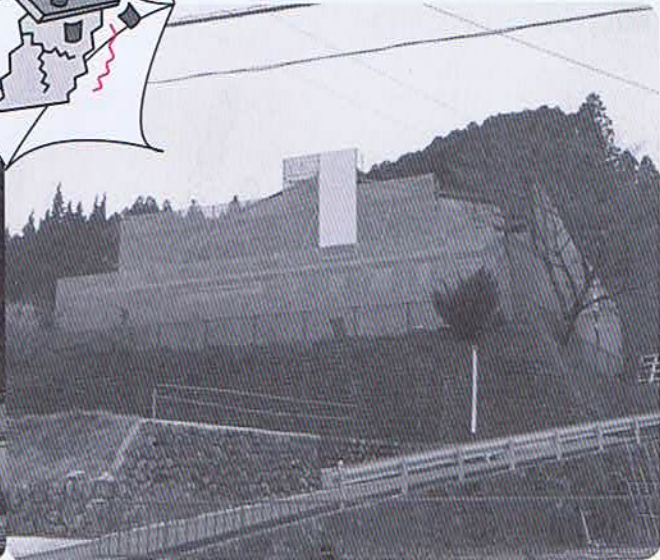
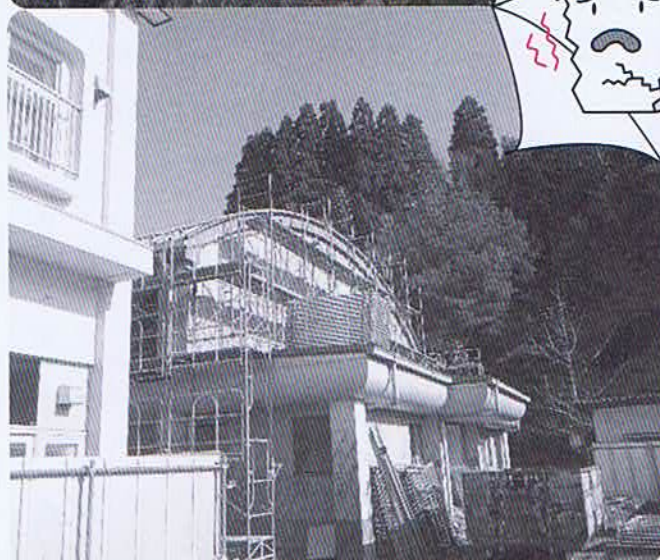
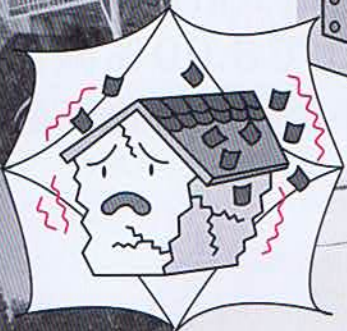
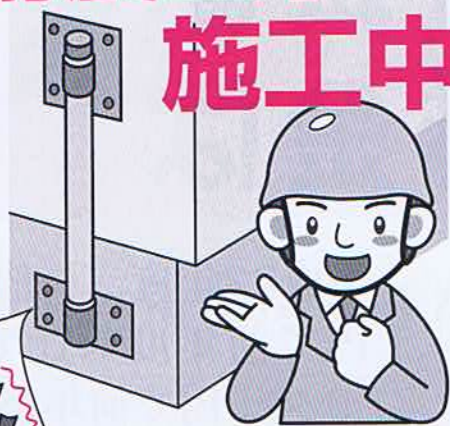
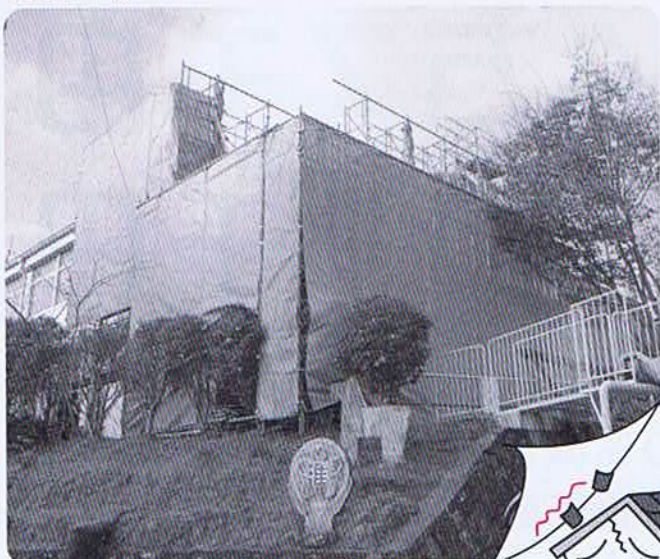
■上表に対する町収入額

項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
合計(円)	13,911,672	63,500,000	10,426,747	79,825,524	41,749,417

■大吊橋施設管理費・鳴子川溪谷及び周辺整備事業費

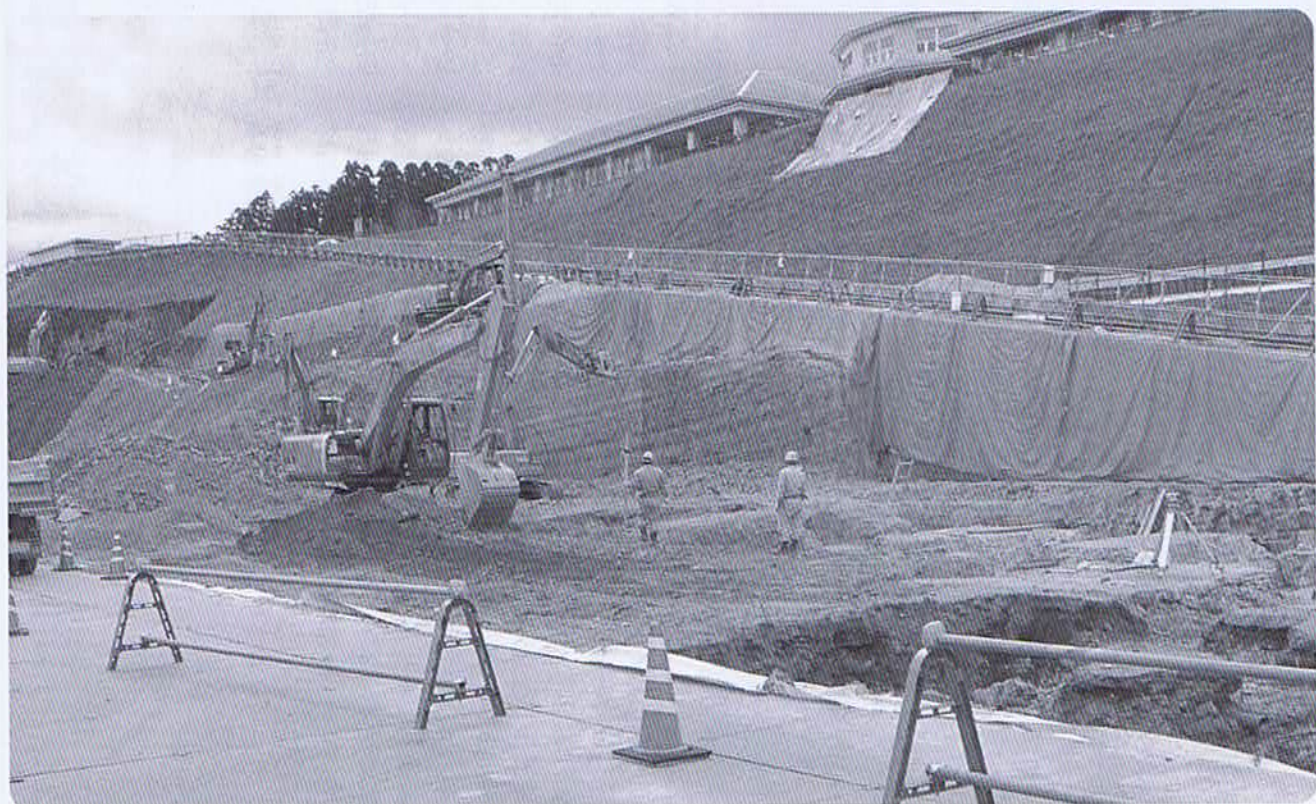
項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
大吊橋施設管理費(円)	89,115,896	164,603,545	146,216,743	131,983,000	117,207,070
鳴子川溪谷及び周辺整備事業費(円)	629,127,635	117,836,880	71,491,350	22,778,955	-

耐震工事 施工中!



飯田小学校

南山田小学校



▲統合中学校の建設現場

貯金は 54万7千円 借金は 51万2千円

平成22年度、一般会計は、歳入総額68億66,248千円で前年度対比で8.00%減、歳出総額は64億27,026千円で前年より、5.49%減となっています。

経常収支比率
84.6%

自主財源比率
36.6%

実質公債費比率
5.7%

実質収支比率
9.62%

(実質公債費比率は25%を超えると財政再建が必要)

決算審査結果の報告

決算審査は、予算が議決しその趣旨と目的に従って適正に、また効率的に執行されたか、内容を審査しました。

★改善又は検討を求めるもの★

歳入については、町税、使用料及び手数料、財産収入や諸収入等の科目で収入未済額が前年よりわずかながら減少し、1億3千9百円となっています。景気等が悪化している現状を考えると、職員の努力による成果だと思えますが、依然として収入未済額が多いことから、各課と連携して効率的な滞納整理に当たるよう指摘しました。

管理委託ですが、玖珠町の道の駅やグリーンプラザの開設に伴い、売り上げが大きく減少しています。設置場所の問題はあろうかと思いますが、今一度商品構成を含め問題を洗い出し、指定管理者と十分協議することを望みます。

「若者定住促進奨励給付金」ですが、これまで定住促進を図る上で一定の効果があつたと考えられますが、この制度が26年で終了することから、先を見越した新たな定住促進を模索するよう要望しました。

「ふれあいいきいきサロン支援補助金」ですが、24団体の事業活動で健康維持の増進に寄与しており、今後の取り組みにも大いに期待しています。

これ以外にも、「特産品商品化・販路開拓推進事業補助金」、「放課後児童健全

育成事業委託金」、「九重夢大吊橋の「施設管理運営整備業務委託」、「体験農園補助金」、「九重町有機農業推進協議会補助金」、「九重夢創造塾補助金」、「自治消防団員の報酬」、「外国語指導委託業務」、「中学校部活動費補助金」等を審査しました。

平成22年度決算審査にあたり、委託金や補助金を中心に審査しましたが、公平・公正・公益性が重要と考えます。補助率に、一定の基準を設けることがすべて正しいやり方とは思いませんが、補助する事業の内容をもう一度見直すことが必要と感じました。

尚、詳細については担当課に指摘しており、今後の行政効果や投資効果が上がるとの報告とします。

歳出については、昨年度の決算審査でも指摘した、「バス路線運行補助金」で、今年度の決算(平成22年度)でも約4千1百万円程補助しています。スクールバス(25年度予定)やコミュニティバスを含めた住民サービスの効率的運営が望まれることから、早急な対応が必要と考えます。

「九重町ふるさと館指定

町民 1 人あたりの

基金 貯金はこれだけ

(単位:千円)

基金名	21年度末残高	22年度末残高
財政調整基金	867,302	1,058,338
減債基金	1,722,240	1,935,727
町有施設整備基金	1,504,922	1,664,202
ふるさと創生事業基金	540,984	499,862
福祉基金	207,456	207,456
地域振興基金	28,375	28,409
環境整備基金	50,909	50,970
ふるさと農村活性化基金	10,724	10,737
スクールバス事業基金	56,928	56,942
足立敬老基金	10,000	10,000
飯田小学校図書整備基金	9,200	9,000
飯田中学校図書整備基金	9,200	9,000
土地開発基金	139,572	139,741
特別導入事業基金	39,707	37,700
用品調達基金	10,000	10,000
災害住宅資金貸付基金	3,000	3,000
証紙購買基金	1,000	1,000
小計	5,211,519	5,732,084
飯田高原診療所施設整備基金	7,572	6,554
国民健康保険基金	85,729	85,796
高額療養費貸付基金	5,000	5,000
水道基金	173,407	178,612
介護保険基金	11,048	11,061
介護従事者処遇改善特例交付金	8,725	5,225
小計	291,481	292,248
合計	5,503,000	6,024,332

地方債 借金はこれだけ

(単位:千円)

資金区分	借入先	21年度末残高	22年度末残高
政府資金	財務省 財政融資資金	4,168,772	4,372,354
	旧郵政公社資金	963,670	822,797
	小計	5,132,442	5,195,151
その他	市中銀行	379,507	124,840
	その他	300,427	315,076
	小計	679,934	439,916
合計		5,812,376	5,635,067

収入未済総額 (滞納金)

(単位:千円)

税目	21年度末	22年度末	増減
町税	99,855	95,586	減 4,269
分担金・負担金	4,309	5,346	増 1,037
使用料・手数料	12,231	12,683	増 452
財産収入	4,197	4,308	増 111
諸収入	21,880	21,586	減 294
合計	142,472	139,509	減 2,963



▲充実が期待されるいきいき夢サロン

夜間議会開催

町政ここが聞きたい、

8名が一般質問

玖珠町と共同で 未設置事業の取り組みを！

協議が整えば可能と考える



藤原 三治

藤原 県下ではほぼ設置が整っている中で、玖珠町と九重町で未設定となっているシルバー人材センターや有害鳥獣処理加工所等を両町の共同事業として行えないか。

町長 シルバー人材センターについては、県内では白杵と津久見が共同で



▲昨年の補助事業で運営している耶馬溪の食肉工房



▲小水力発電が有望の松木ダム

循環型エネルギーの取り組みは 前向きに取り組みたい

藤原 県の方針は、地熱や小水力に力を入れ、エネルギー政策日本一の先進県を目指して行く中で、町も乗り遅れないように、小水力等の可能性を含めて調査研究を急ぐべきではないか。

エネルギー施策については国主導で行うものと考え、町にメリットのある循環型エネルギーについては、導入に向けて取り組んで行きたいと思っている。

町長 九重町は、日本の地熱発電所を有し、再生可能エネルギー自給率全国2位となっております。

他に、結婚支援事業の取り組みについて、道路の除雪対策について、ピニールハウスの雪害対策について質問を行いました。

指定を受けており、協議が整えば設立できると思っている。町としても前向きに指導していきたいと思っている。

有害鳥獣処理加工所は民間による設置責任者等が決まれば可能と考えるが、持ち込みの所要時間による設置場所等が課題と考える。

農家の生き残り対策は

組織と力を合わせ努力する



坂本 憲治

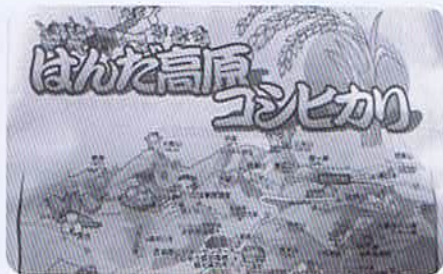
坂本 23年度農産物の生産、販売状況と次年の振興策について伺いたい。

町長 全体的に震災等の影響もあり、横ばい、又は減少傾向の品目が多かった。中でも、生椎茸の夏場の単価の下落は大きかった。昨年に続き種コマ助成を検討中である。

坂本 米の販売価格は、現在においても安価状況にあることから、県とJAと両町で、「販売戦略会議」なるものを設置し、対応を協議すべきと考えるが。

町長 今後の、TTP問題等を考慮すると、特に米と畜産への影響が大きいと考える。今後も、おいしい米を作ることはもちろんだが、大きな転換期と考へ、JAや各組織と協力して、高く売れる手法をさぐって行きたい。

ひとめぼれののぼり旗



▲特別栽培米の袋の絵

婚活の支援

坂本 町内の農業後継者を中心に独身男女が多く、結婚問題は町の最重要課題として取り組むべきではないか。インターネット等で全国の取り組みを調査研究して、出会いの場の提供を行ってはどうか。

町を挙げて推進したい

町長 定住一万人を死守する為には、結婚問題が重要であり、第4次総合計画の中でも、重要プロジェクトの一つとして取り上げ、町を挙げ、組織を挙げて、独身者の婚活支援を推進したい。

防犯対策 有害鳥獣対策は

防：関係機関と協議 鳥獣：今以上の支援は検討



土井 真一郎

防犯対策は

土井 九重町内の公共施設の駐車場等で車上ねらい等が起きているが、犯罪防止に役割を果たす防犯カメラの設置が必要と考えるが。

町長 公共施設の防犯対策として防犯カメラの設置は犯罪防止の上で必要と思うが、犯人検挙は警察の対応であり、行政がどこまで関わるかといった問題もあるので、設置については警察や防犯協会等と協議し検討したい。

土井 多犯罪地区に対して貸出用の防犯カメラの対応はできないか。

町長 防犯カメラの設置については、基本的に地域の対応と考へているが、町民の安全・安心を図ることは必要であり、犯罪が多発する地区については新年度予算で対応したい。

有害鳥獣の抜本的な撲滅に向けた今後の対応は



▲箱ワナに入った山のギャングひと家族

土井 鳥獣被害の、抜本的な解決策は駆除しかないと考へるが、経費を支援し捕獲者を増やし、駆除ができる環境づくりが必要と思うが。

町長 現在講習会等の補助を実施しているが、それ以外の支援については検討したい。

TPP九重町農業の生き残りは

国の施策に沿った方向で修正を



佐藤博美

佐藤 九重町では第4次総合計画を策定中だが、TPP参加により九重町を含め、日本農業は崩壊すると言われている。TPPに対応すべく、長期的な農業政策を考えるべきではないか。

町長 TPP参加により国から多くの施策が打ち出されてくると思うので、国に沿った方向で町の施策を修正していく。また、農地集積の促進をし、将来的には農地の受委託、集落営農組織の育成も考えていかなければならない。

佐世保との連携した観光振興を

佐藤 釜山と佐世保、上海と長崎航路が開設すると聞くが、姉妹都市の佐世保と連携した観光を進める事が必要と考えるが、

情報を収集してツアーに生かしたい

町長 一泊が佐世保、一泊が九重町となると、商品開発になるので、具体的にツアーの中に織り込

む形になる。佐世保に情報収集に行き具体的な取り組みをしたい。



▲姉妹都市佐世保との交流風景

猪鹿の有害鳥獣に 通年報奨金を

佐藤 今、町では色々な鳥獣対策に取り組んでいるが、頭数を減らさない限り、抜本的な対策にはならない。年間を通した捕獲報奨金の支払いをする事が必要と思うが、

来年度予算で 対応を考える

町長 来年度に向けて、年間を通した捕獲報奨金の支払いや、銃の更新、登録手数料などの助成を含めて考えていく。

農林業の振興策は

国の方針を見ながら対応したい



大津留敏加

大津留 森林の26年生以上の切り捨て間伐の補助金が廃止となる。森林の荒廃防止は、災害の未然防止にもつながり、健全な山づくりが求められている。杉・桧等の50年生以上の全伐・切り捨て間伐と全伐後の育林に町独自の助成はできないか。

町長 森林環境保全直接支援事業の中で、除間伐・全伐後の再造林・簡易作業路開設・シカネットセツト設置・下刈り事業に対して、国・県の補助金に上乗せ補助金を行っており、国の動向を見て対応したい。



▲荒廃の進む山林風景

どうする 町道拡幅工事は!!

大津留 千町無田地区県道田野庄内線に交わる交差点の町道側の幅員が狭く危険である。毎年6月上旬より9月末までに、九州実業団のマラソン、九州高校駅伝の練習コースになっており、安全対策と経済対策のためにも、拡張改良工事はできないか。

条件が整えば取り組みたい

町長 交通事故の大半は交差点付近に集中しているといわれており、未改良の交差点において危険な状況が見受けられるようであれば現地調査を行い、緊急性のある箇所から拡幅改良等、必要な安全対策を講じる。



▲町道無田・硫黄山線

町民議論優先の町政を望む

できるだけそういう手法をとりたい



佐藤 明郎

佐藤 町民に直接かかわる重要案件については計画に入る段階で町民に情報公開すべきではないか。

町長 課題があつて計画を作るわけですから、当然町の考え方を決定してから住民の方々に御意見を伺う手法をとつてきました。

町政への不信任

佐藤 庁内で議論を始める段階で町民に公開しないと誤解をうんだり、町政に対し不信任を生むのでは。

町長 様々な考え方があつた中で、白紙の状態でするのは時間もかかるし、意見がまとまりにくいので、まずは素案を作つてその後の町民議論を受けて変えていくという方針をとる。

リーダー育成

佐藤 町民の町政に対する感心が高まらない。次代を担うリーダーが育ちにくい。この要因には町民議論の不足があるのでは。

町長 第四次統合計画も策定にあつてその都度、方向性を示してきた。計画の種類によつては白紙の状態で議論していただける計画もある。計画の特性に応じて、指摘された手法を取る事も可能だと思ふ。町民の感心が薄い、リーダーが育たない問題は情報公開だけでは解決できない。多方面からの検討が必要である。

町民とともに

佐藤 町民は5年後、10年後を切羽詰まつた思いでいる。「町民とともに」そして自分たちの町は自分たちで。というのであれば、執行権をもつ立場としてどうしようと町民議論を受け止める姿勢、町民議論を促す手法を重ねてお願いしたい。

町長 言われるとおり、原点は町民でございますし、その点十分我々も腹に置いて、そういう手法をできるだけとつていきたい。

観光振興の基本方針は

自然を守り、観光の町を自覚することから



池部 俊慈

池部 九重町における観光振興に対する基本方針は。

町長 九重町は「農業と観光の町」である。第3次総合計画に定住人口1万人・交流人口2万人が集う町とうたっている。交流人口2万人は、観光客を九重町に迎え交流することである。九重町の外貨獲得には、観光が一番である。また農業をしながら九重町の美しい自然を守り、九重町が観光の町であることを自覚し、一緒になって観光の町、九重町を売り出す気構えが必要である。

連携から

活性化へ

池部 観光は農業や商業など多くの業種と連携しあう事で付加価値が高まり、地域活性化に繋がると思ふが。

町長 観光は、農業と一体になることで、外貨を稼ぐ窓口となり、九重町の地域活性化に繋がる。

観光には、おもてなしが大事であり、観光客がもう一度来たい、人に教えてあげたいと思う観光地づくりのための行政としても、おもてなしにも力を入れたい。

九重町観光の 施策方針は

池部 今年度の施策方針についてお聞きしたい。

町長 九重町は、入込客が年間4〜5百万人で、宿泊客が1割程度にとどまっているのが課題。宿泊者増進を図るため、大吊橋をはじめとする観光施設や恵まれた観光資源を生かした滞在型観光を旨とし、観光協会などと連携し、事業推進を図っていききたい。



▶町の観光の中核をなす大吊橋

江藤 一幸



女性の社会参加

江藤 男女共同参画のま
ちづくり推進の取り組み
は何年経ったか。町内は
どう変わったか。また、
庁舎内部での改善・改革
はどうか。

まだ不十分

町長 13年である。女性
の社会進出や、それぞ



▲女性参画が進む社会福祉協議会

の個性や能力を発揮でき
る社会づくりは十分でな
く、今後も推進する。女
性職員の登用は、引き続
き総合的に勘案し、適材
適所の配置を行ってい
く。

亀鶴苑の今後は

江藤 民営化に伴う現状
と、今後の施設整備（建
て替え）は。

建て替えは今後協議

町長 老朽化した施設、
約2千万円程度の改修工
事を行った。消防法改正
により、現在スプリンク
ラー工事中、建て替えに
ついては、亀鶴苑運営協
議会（玖珠会・玖珠町・
九重町）で協議を行う。



▲老朽化が進む亀鶴苑

納税は町民の義務

江藤 諸税・使用料の滞
納徴収は、未納を放置す
ると、納めている方々に
不公平感が增大する。対
策は、合わせて滞納防止
策は。

差押等の執行で

町長 諸税の滞納は、差
押えなどにより徴収率が
向上。使用料は督促・催
告・個別訪問などを実施
している。防止策は、滞
納処分の実施状況のPR
等で滞納しないよう啓発
に努める。

有効活用の検討が進む奥野地区旧五代施設

こども園を含む子ども総合センター(仮称)も選択肢のひとつとして検討中



わたしのひとこと

わたしのひとこと



荃の口
武石 豪志

地区の議員さんには日常親しく接していても、地区外議員の多くの方には名前、顔を存じている程度の中で、全議員の方に地区の実状を訴え、理解願える絶好のチャンスと、今回の「おでかけ議会」に好感と期待感で出席しました。諸事に於ける会議と執行部との関連、両者への対応のしかた、消滅しかねない限界集落のこと等々を交わすことができて、要望陳情のみに終始するで無く、私なりに得るものがあつたものの、反面出席者が少なく区長や活動グループ等々の出席はあると思つていたので意外でした。

議会への理解、出身地区にとらわれることなく多くの町民に接し町内全地域の実状を全議員が直接に把握等、新しい積極性ある好ましい企画と捉えていただけに、それに応ずる姿勢、逆攻めの貧しさに少々がっかりしましたが、回を重ねることで町民の意識喚起も可能と思えます。今回のみでなく、せめて年2回程度の更なる継続を要望します。



▲おでかけ議会

私のひとこと！



重原 治之志

新しい統合中学校の建設工事が始まりました。期待と希望に満ちた、長年の思いを込めた一大事業に、大いに注目しています。中学校の統合に伴ない、それぞの關係する地区では、閉校に向けた準備が進み始めたのではないのでしょうか。これもまた、長い歴史を考えると一大事業でしょう。私は野上中学校の出身です。現在の校舎が、約37年前に新築された時、わずか2週間だけ新しい校舎で学ぶことができました。当時3年生だったので、古い木造の校舎からの引越作業や、新しい校舎の掃除など、大変だったことを、今懐かしく思い出しています。その思い出多い中学校がなくなつて

しまことは、本当に寂しい気持ちでいっぱいです。でも、将来を託された子どもたちが、多くの仲間を得て、競い合いながら学び合える、そんなすばらしい環境が整備されることに、寂しさ以上の喜びを感じています。ただ一つ気がかりなことがあります。子どもたちの姿が見えなくなった校舎が、どうなってしまうのかということです。地区で利用できる施設として期待してます。新しいもの、古いものをうまく使いこなす知恵を、皆で出していきたいですね。



▲建設が進む統合中学校

傍聴へ どうぞ

次回は4月上旬予定

思い出のアルバム No.8



昭和26年町制施行により野上町誕生のお祝いの仮装行列

お手持ちのなつかしい写真をお貸しください。

編集後記

▼ 新年あけましておめでとうございます。昨年は東日本大震災が発生し、全ての業種が非常に厳しい一年でした。震災前、電気については気にも止めていなかったが、震災後は電気予報が毎日、新聞に掲載されるようになりました。今年の冬は石油・薪ストーブの使用も考えられます。また、電気やガスも使わずできる農産物の加工品（漬物・干物）の利用範囲を広げることが節電につながると思います。

新しい年は災害の無い、少しでも明るい希望に満ちた年になるように願っています。

大津留敏加

- ・ 広報委員長 坂本 憲治
- ・ 副委員長 藤原 三治
- ・ 委員 日野 康志
- ・ 委員 大津留敏加
- ・ 委員 池部 俊慈
- ・ 委員 佐藤 明郎

